

2012年度 特別勘定の現況

●投資環境(2012年度)

日本株式市場 日経平均株価は期初10,161円で始まりました。中国の経済成長鈍化への懸念や米国の経済指標の悪化などによる世界景気減速懸念等から同株価は下落傾向を示しました。また、欧州債務問題の再燃等により株価下落に拍車がかかり、6月に日経平均株価は当期最安値となる8,238円まで下落しました。その後一進一退の動きが繰り返されましたが、11月に衆議院が解散され、12月の総選挙で自民党が圧勝すると、安倍政権が日銀に無制限の金融緩和を求める姿勢を明確にしたこと等から急ピッチに円安が進行しました。更にその他同政権による機動的な財政政策や成長戦略など矢継ぎ早の政策発動を示唆したこと等を受け、政策への信頼感や企業業績の改善期待等から3月まで同株価は上昇傾向を示しました。3月に日経平均株価は当期最高値となる12,650円まで上昇し、期末は12,397円で終了しました。

外国株式市場 期初、S&P500は1,408.47、FTSE100は5,768.45で始まりました。くすぶる欧州債務問題の再燃でリスク回避の動きから株価は軟調に推移し、6月にはS&P500は1,266.74、FTSE100は5,229.76の今期最安値をつけましたが、7月のドラギ欧州中央銀行総裁の「ユーロ圏の安定のためにあらゆる手段を講ずる用意がある」との発言を契機として、また米連邦準備制度理事会による量的緩和への期待等を背景として、リスク資産を選好する動きが強まり、株価はその後年度末に向け緩やかな上昇傾向を示しました。3月にはS&P500が2007年以来の史上最高値更新となる1,570.28を付け、FTSE100は6,533.99の今期最高値をつけるなど株価は堅調に推移し、期末は若干値を戻しS&P500が1,569.19、FTSE100は6,411.74で終了しました。

日本債券市場 10年国債利回りは期初1.01%で始まり、長期化する円高・デフレや日銀の追加緩和期待等により7月に同利回りは0.7%程度まで低下しました。その後一進一退の動きが繰り返されましたが、白川日銀総裁の後任となる黒田新総裁が、2%の物価安定目標を達成するためにマネタリーベースと長期国債・上場投資信託の保有額を2年間で2倍に拡大することや長期国債買い入れの平均残存期間を2倍以上に延長することなど、大胆な金融緩和策を打ち出すと、このいわゆる「異次元緩和」への期待感から同利回りは低下傾向を示し、3月には0.51%まで低下しました。期末は若干上昇して10年国債利回りは0.55%で終了しました。

外国債券市場 期初、米国10年国債利回りは2.22%、ドイツ10年国債利回りは1.84%で始まりました。深刻化する欧州債務問題への懸念を背景に、相対的に高い信用力を持つ米国やドイツの国債が選好された結果、7月に米国10年国債利回りは1.37%、ドイツ10年国債利回りは1.12%まで低下しました。1月に公表された米連邦公開市場委員会議事録で、一部のメンバーが2013年中の国債購入終了の可能性に言及したことが判明したこと等により、米国10年国債利回りが一時上昇しましたが、その後一進一退の動きが繰り返され、期末には米国10年国債利回りは1.84%、ドイツ10年国債利回りは1.28%で終了しました。

外国為替市場 米国の長期金利の低下や欧州債務問題により、円は逃避通貨として選択されたことから、対米ドルのみならず、ユーロに対しても円高傾向を示しました。9月には米連邦準備制度理事会が導入を決定した量的緩和第三弾を受け、対ドルで円は今期最高値の1米ドル=77.13円まで上昇しました。欧州債務問題の南欧への波及からユーロは下落を続け、7月には2000年以来のユーロ安・円高水準となる1ユーロ=94.11円を付けました。その後は、日銀の大胆な金融緩和への期待や燃料輸入の増加の影響等で拡大する日本の貿易赤字等を背景に期末にかけて円安傾向となり、期末には1米ドル=94.22円、1ユーロ=120.78円で終了しました。

●特別勘定の運用方針

- | | |
|-------------|---------------------------------------|
| ①当期の運用実績の推移 | 特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2012年度決算(決算日:2013年3月31日)を行いました。当資料は2012年度の運用状況をご報告するものです。
(3ページ以降は特別勘定レポート(2013年4月発行(2013年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。)

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SA バランス 0807A	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807A
現預金・コールローン	20
有価証券	1,351
公社債	1,351
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	4
貸倒引当金	-
合計	1,375

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807A
利息配当金等収入	21
有価証券売却益	9
有価証券償還益	-
有価証券評価益	91
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	87
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	33

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0807A	294 10年利付国債	-	-	95,000	96,247
	296 10年利付国債	-	-	37,000	36,784

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

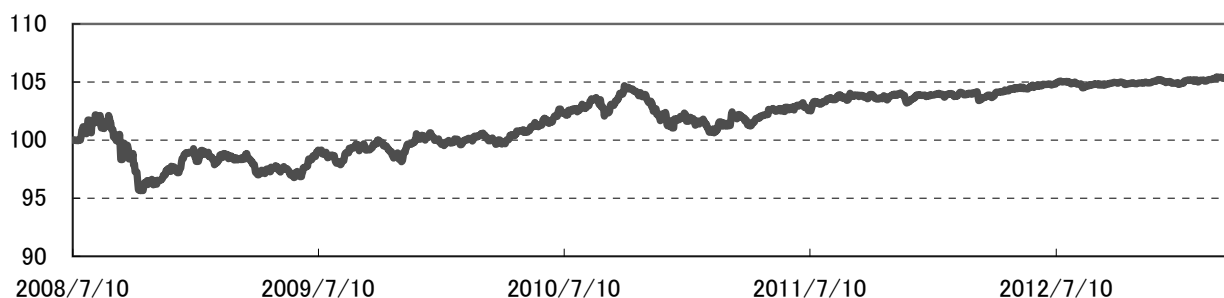
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0807A)	250	1,435

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0807A」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年7月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0807A	0.06%	0.45%	0.46%	1.45%	5.37%	105.37

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0807A	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,355	98.5%
現預金・その他*	20	1.5%
純資産総額	1,375	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	68.6%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	29.9%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SA バランス 0807B	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807B
現預金・コールローン	27
有価証券	1,794
公社債	1,794
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	4
貸倒引当金	－
合計	1,826

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807B
利息配当金等収入	28
有価証券売却益	16
有価証券償還益	－
有価証券評価益	123
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	122
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	46

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0807B	294 10年利付国債	－	－	138,000	139,826
	296 10年利付国債	－	－	99,000	98,342

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

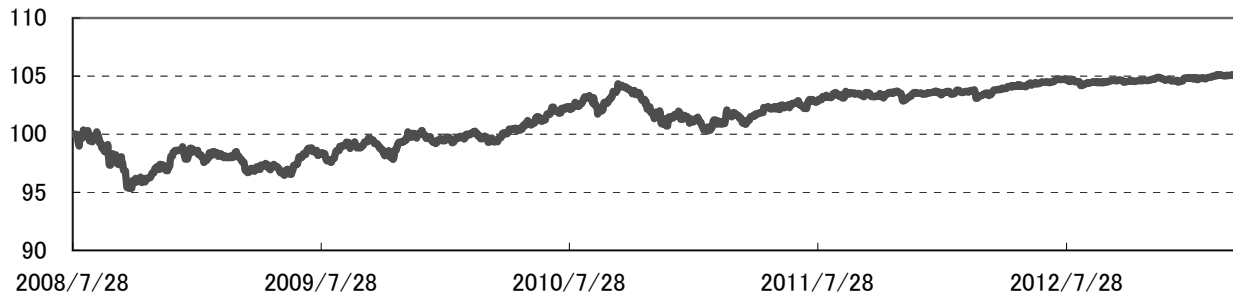
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0807B)	306	1,899

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0807B」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年7月28日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0807B	0.07%	0.47%	0.48%	1.47%	5.07%	105.07

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0807B	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,799	98.5%
現預金・その他*	27	1.5%
純資産総額	1,826	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	59.2%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	39.3%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SA バランス 0808A	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808A
現預金・コールローン	42
有価証券	2,241
公社債	2,241
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	4
貸倒引当金	－
合計	2,288

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808A
利息配当金等収入	34
有価証券売却益	21
有価証券償還益	－
有価証券評価益	160
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	157
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	59

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0808A	294 10年利付国債	－	－	121,000	122,584
	296 10年利付国債	－	－	181,000	179,770

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

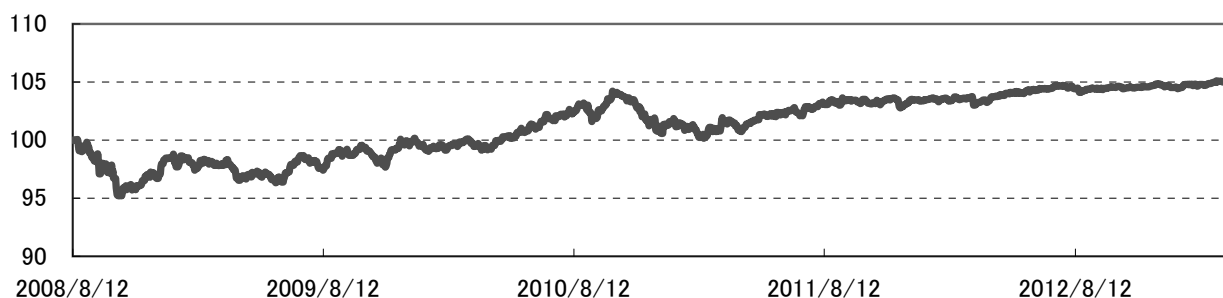
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0808A)	322	2,394

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0808A」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年8月12日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0808A	0.08%	0.50%	0.51%	1.53%	5.05%	105.05

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0808A	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	2,245	98.1%
現預金・その他*	42	1.9%
純資産総額	2,288	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	39.0%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	59.2%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SA バランス 0808B	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808B
現預金・コールローン	43
有価証券	2,630
公社債	2,630
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	3
貸倒引当金	－
合計	2,676

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808B
利息配当金等収入	40
有価証券売却益	29
有価証券償還益	－
有価証券評価益	190
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	188
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	71

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0808B	294 10年利付国債	－	－	82,000	83,081
	296 10年利付国債	－	－	323,000	321,367

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

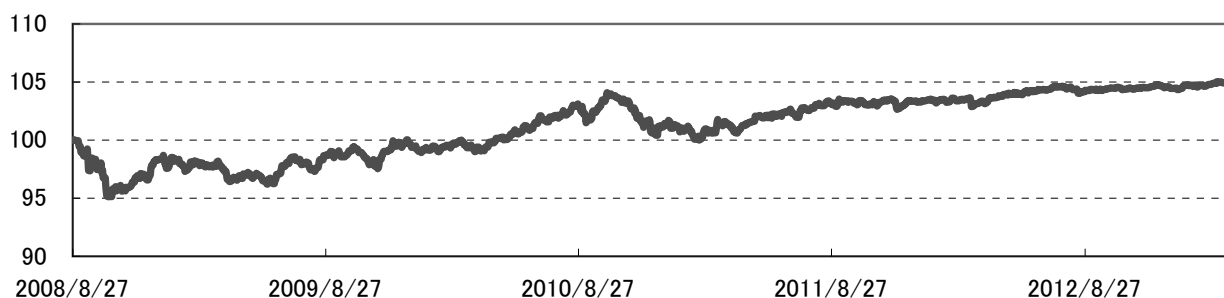
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0808B)	438	2,790

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0808B」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年8月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0808B	0.09%	0.53%	0.54%	1.58%	5.00%	105.00

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0808B	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	2,633	98.4%
現預金・その他*	43	1.6%
純資産総額	2,676	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	19.6%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	78.8%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SA バランス 0809A	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809A
現預金・コールローン	45
有価証券	2,246
公社債	2,246
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	2,293

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809A
利息配当金等収入	33
有価証券売却益	25
有価証券償還益	－
有価証券評価益	167
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	163
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	62

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0809A	296 10年利付国債	－	－	345,000	343,297

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

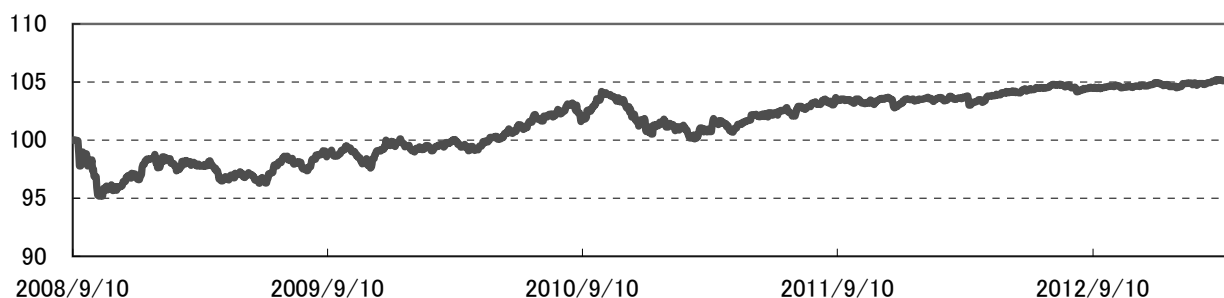
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0809A)	338	2,396

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0809A」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年9月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0809A	0.10%	0.56%	0.58%	1.64%	5.19%	105.19

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0809A	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	2,247	98.0%
現預金・その他*	45	2.0%
純資産総額	2,293	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	98.0%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SA バランス 0809B	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809B
現預金・コールローン	34
有価証券	1,885
公社債	1,885
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	1,920

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809B
利息配当金等収入	26
有価証券売却益	11
有価証券償還益	－
有価証券評価益	140
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	129
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	50

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0809B	296 10年利付国債	－	－	160,000	159,199

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

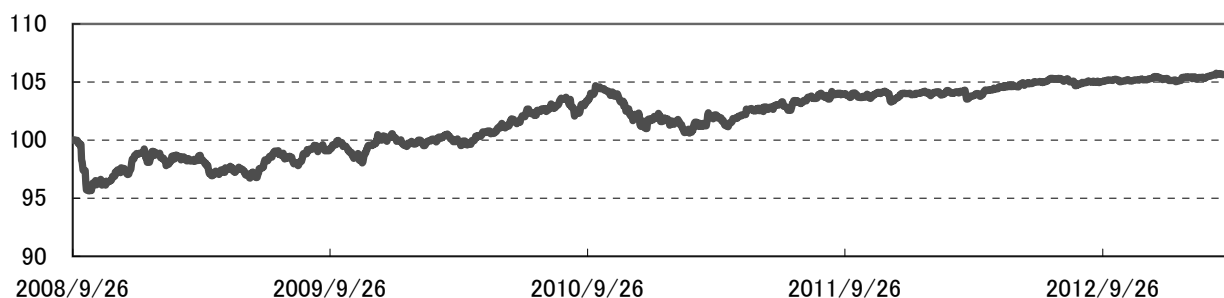
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0809B)	297	1,997

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0809B」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年9月26日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0809B	0.10%	0.56%	0.57%	1.65%	5.72%	105.72

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0809B	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,886	98.2%
現預金・その他*	34	1.8%
純資産総額	1,920	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	98.2%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SA バランス 0810A	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0810A
現預金・コールローン	27
有価証券	1,357
公社債	1,357
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	1
貸倒引当金	－
合計	1,386

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0810A
利息配当金等収入	18
有価証券売却益	5
有価証券償還益	－
有価証券評価益	72
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	59
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	37

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0810A	296 10年利付国債	－	－	76,000	77,558
	298 10年利付国債	－	－	31,000	31,060

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

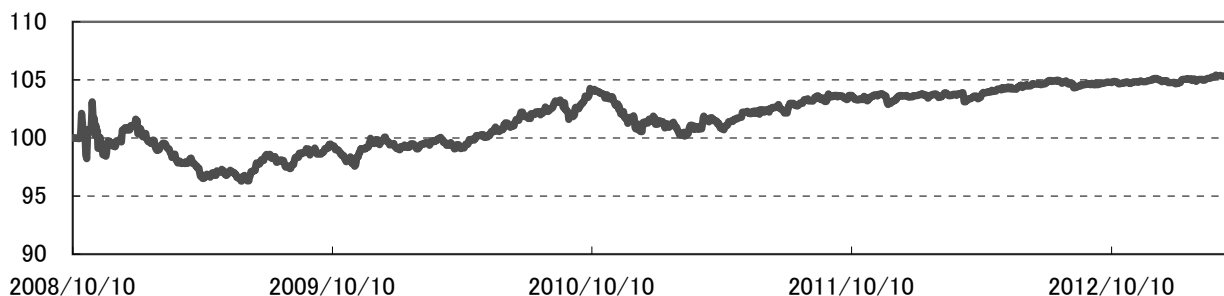
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0810A)	199	1,446

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0810A」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年10月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0810A	0.12%	0.61%	0.62%	1.73%	5.40%	105.40

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0810A	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,359	98.0%
現預金・その他*	27	2.0%
純資産総額	1,386	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	68.4%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	29.6%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SAバランス 0810B	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SAバランス0810B
現預金・コールローン	9
有価証券	503
公社債	503
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	513

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SAバランス0810B
利息配当金等収入	6
有価証券売却益	4
有価証券償還益	-
有価証券評価益	27
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	24
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	14

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0810B	296 10年利付国債	-	-	49,000	50,044
	298 10年利付国債	-	-	35,000	35,076

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

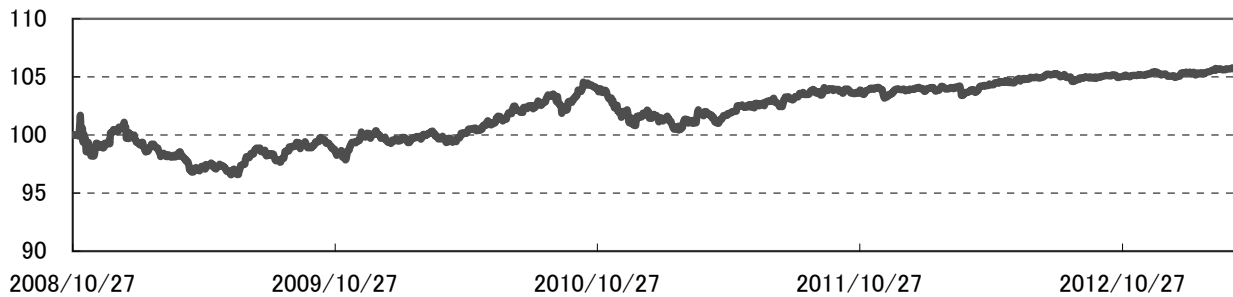
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0810B)	93	534

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0810B」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年10月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0810B	0.13%	0.62%	0.64%	1.74%	5.72%	105.72

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0810B	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	504	98.1%
現預金・その他*	9	1.9%
純資産総額	513	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年2月27日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	59.0%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	39.1%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SAバランス 0811A	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SAバランス0811A
現預金・コールローン	9
有価証券	392
公社債	392
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	403

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SAバランス0811A
利息配当金等収入	5
有価証券売却益	5
有価証券償還益	-
有価証券評価益	22
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	21
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	11

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SAバランス0811A	296 10年利付国債	-	-	42,000	42,861
	298 10年利付国債	-	-	60,000	60,117

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

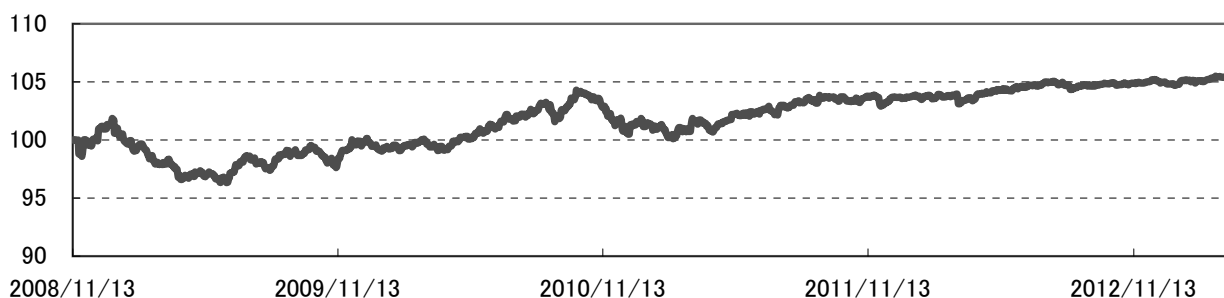
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SAバランス0811A)	81	419

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0811A」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年11月13日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0811A	0.14%	0.65%	0.66%	1.79%	5.49%	105.49

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0811A	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	393	97.6%
現預金・その他*	9	2.4%
純資産総額	403	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	37.9%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	59.7%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SA バランス 0811B	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス0811B
現預金・コールローン	11
有価証券	321
公社債	321
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	334

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス0811B
利息配当金等収入	4
有価証券売却益	0
有価証券償還益	-
有価証券評価益	18
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	14
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	9

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス0811B	296 10年利付国債	-	-	1,000	1,020
	298 10年利付国債	-	-	6,000	6,013

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

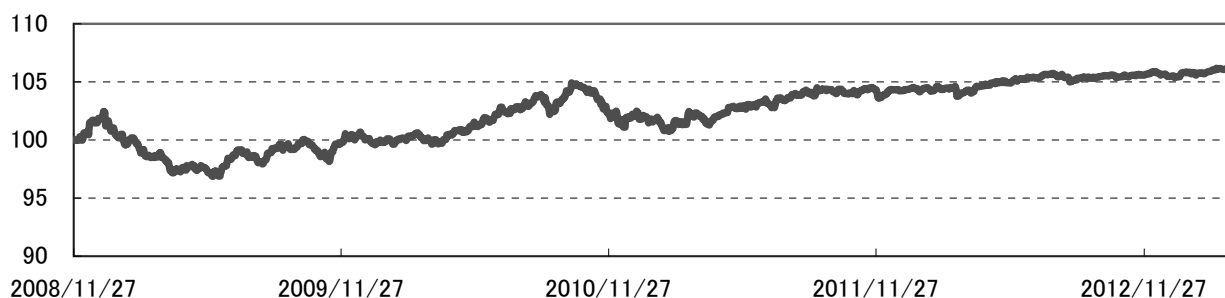
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス0811B)	66	334

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0811B」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年11月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0811B	0.14%	0.68%	0.69%	1.81%	6.19%	106.19

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0811B	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	322	96.5%
現預金・その他*	11	3.5%
純資産総額	334	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月9日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	19.0%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	77.5%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SA バランス 0812A	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812A
現預金・コールローン	10
有価証券	312
公社債	312
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	1
貸倒引当金	-
合計	323

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812A
利息配当金等収入	4
有価証券売却益	7
有価証券償還益	-
有価証券評価益	19
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	20
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	10

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0812A	298 10年利付国債	-	-	132,000	132,114

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

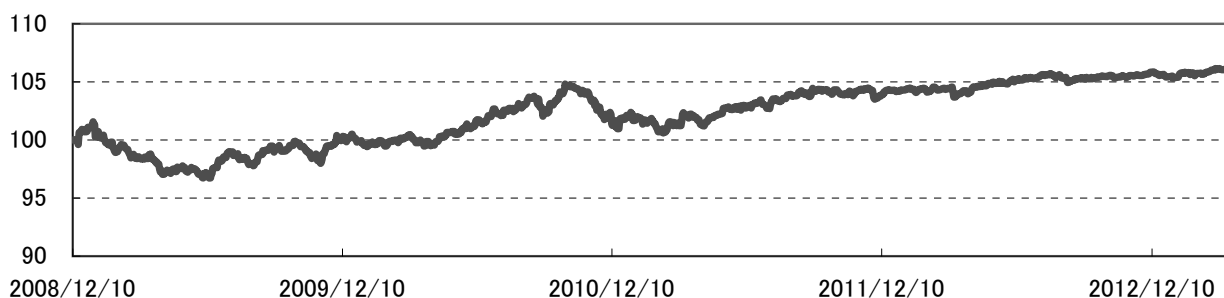
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0812A)	58	335

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0812A」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年12月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0812A	0.15%	0.71%	0.72%	1.86%	6.18%	106.18

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0812A	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	313	96.8%
現預金・その他*	10	3.2%
純資産総額	323	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月3日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	96.8%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SA バランス 0812B	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812B
現預金・コールローン	6
有価証券	153
公社債	153
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	160

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812B
利息配当金等収入	1
有価証券売却益	1
有価証券償還益	－
有価証券評価益	8
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	7
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	4

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0812B	298 10年利付国債	－	－	33,000	33,199

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

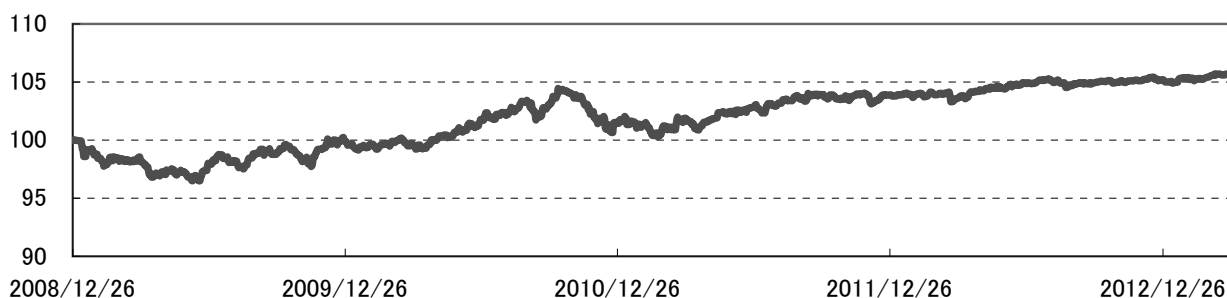
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0812B)	25	166

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0812B」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年12月26日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0812B	0.15%	0.70%	0.71%	1.84%	5.74%	105.74

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0812B	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	154	96.0%
現預金・その他*	6	4.0%
純資産総額	160	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年1月23日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	96.0%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象	運用会社	運用方針
総合型	SA バランス 0901A	公社債等	東京海上日動 フィナンシャル生命保険	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は公社債等による安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0901A
現預金・コールローン	3
有価証券	75
公社債	75
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	79

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0901A
利息配当金等収入	0
有価証券売却益	0
有価証券償還益	-
有価証券評価益	4
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	3
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	2

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0901A	298 10年利付国債	-	-	5,000	5,009

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

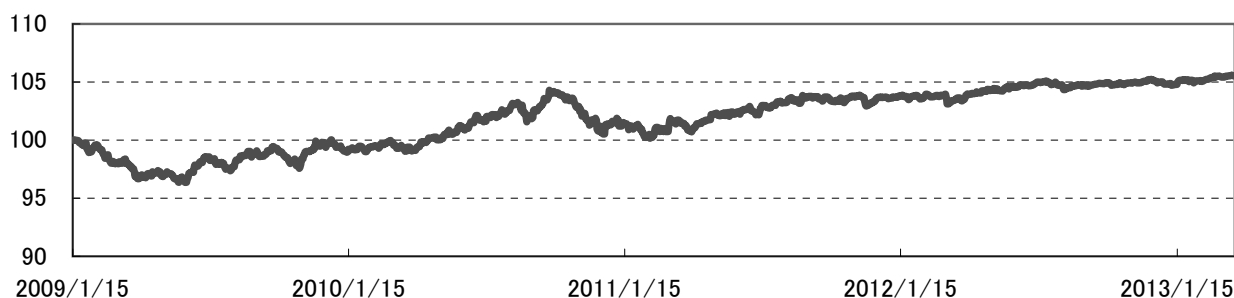
項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0901A)	16	82

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0901A」運用状況

2013年3月末現在

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2009年1月15日）



■ ユニットプライスの騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2013年3月末現在 ユニットプライス
SAバランス0901A	0.15%	0.70%	0.71%	1.84%	5.55%	105.55

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

SAバランス0901A	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	75	95.9%
現預金・その他*	3	4.1%
純資産総額	79	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

2013年3月末現在

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	95.9%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。また、契約日から1年未満の解約もしくは一部引出には別途「解約控除」がかかります。

■運用期間中の費用

項目	費用の概要と適用方法	費用	
		投資信託による運用	公社債等による運用
保険関係費用 (保険契約管理費)	この保険の維持管理等に必要な費用で、死亡保険金額および年金原資を最低保証するための費用などを含みます。特別勘定の純資産総額に対して、[右記の年率/365(日)]を乗じた金額を毎日控除します。	特別勘定の純資産総額に対して 年率2.08%^{*2}	特別勘定の純資産総額に対して 年率0.90%
資産運用関係費用 (資産運用管理費) ^{*1}	保険関係費用以外で、特別勘定の運用にかかる費用です。特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して、[右記の年率/365(日)]を乗じた金額を毎日控除します。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して 年率0.90%程度^{*3}	資産運用関係費用はかかりません。

*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

*2 債券ファンドのみで運用を開始した場合は、年率0.90%となります。

*3 債券ファンドのみで運用を開始した場合は、信託報酬はかかりません。

■解約もしくは一部引出した場合の費用

項目	費用の概要と適用方法	費用
解約控除	契約日から1年未満 ^{*4} で解約もしくは一部引出した場合、解約控除対象額 ^{*5} から控除されます。	解約控除対象額に対して 0.20%

*4 1年未満とは、契約日から1年後の年単位の契約応当日の前日までの期間をさします。

*5 解約控除対象額とは、解約の場合は解約日の積立金額、一部引出の場合は一部引出額をさします。

■年金受取期間中の費用(主契約および年金支払特約) ※将来、以下の内容が変更になることがあります。

項目	費用の概要と適用方法	費用
保険関係費用 (年金管理費)	この保険の維持管理等に必要な費用です。年金支払開始日以降、支払年金額に対して右記の率を乗じた金額を、年1回の年金受取日に責任準備金から控除します。	支払年金額に対して 1.0%

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険(年金保険)です。特別勘定は主に国内外の株式・債券等の値動きに連動する投資信託に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じる可能性があります。

ご注意いただきたい事項

■「投資型年金保険 異次元元(変額個人年金保険GF(Ⅲ型))」は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。このため、預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

■「投資型年金保険 異次元元(変額個人年金保険GF(Ⅲ型))」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも、年金原資には最低保証があります。ただし、年金原資が最低保証されるためには、運用期間(契約日から10年間)満了まで運用いただくことが必要です。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社 〒167-0043 東京都杉並区上荻一丁目2番1号 インテグラルタワー TEL 03-6383-6811(大代表) ホームページ http://www.tmn-financial.co.jp ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは 0120-155-730 受付時間: 月～金/9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)
---------	--